

考古学からみた大阪 古代の交流

大阪は、瀬戸内海航路の終着点にあたることから、原始・古代から西国や大陸との往来が盛んでした。外来文化を積極的に取り入れることにより地域の発展が下支えされてきましたが、その具体像を最新の発掘調査にもとづく考古学研究の成果から紐解いてみたいと思います。

7 / 16 木

弥生時代開始期の交流

弥生文化博物館 学芸員 高瀬 裕太

弥生時代は、朝鮮半島から伝わった様々な文化・技術と、列島内における縄文文化の伝統との交流により始まりました。本講座では列島内外のモノや技術の交流を紹介しつつ、弥生時代の始まりについて考えます。

12 / 17 木

玉からみた地域間交流と王権

大阪府文化財センター 調査課長補佐 廣瀬 時習

弥生時代から古墳時代にかけて用いられた石製玉類の生産と流通のあり方について考えます。弥生時代の地域間流通の背景や古墳時代に倭王権がどのように関わったのかなど、各地の玉とその流通の背景を探ります。

8 / 20 木

弥生時代における
水田稲作の定着と展開

大阪府文化財センター 調査課 主査 井上 智博

水田稲作は、弥生時代に日本列島に導入され、定着しました。最近、弥生時代前期に水田が定着していった過程や、水田稲作と自然環境変化との関係についての研究が進められています。今回はその成果をふまえて、自然環境との関係や人間集団の交流という視点から、弥生時代の水田について考えたいと思います。

1 / 21 木

土器からみた古墳時代の日韓交流

大阪府文化財センター 調査課 主査 鹿野 墨

古墳時代の遺跡からは多くの渡来系遺物が出土しています。人々はどこからやってきたのか、当時の生活にどのような影響があったのか、その故地を明らかにしながら、土器からみた古墳時代の交流を探ります。

9 / 17 木

墳丘墓と葬送儀礼からみる
地域間交流

大阪府文化財センター 調査課 主査 大庭 重信

弥生時代には各地で特徴のある葬送儀礼が行われていましたが、後期以降、一部の有力者の墓がより華麗になり、地域を越えた人や祭式の交流が盛んになります。今回は、古墳が出現するまでの、弥生時代の葬送儀礼の地域色と交流の歴史をたどります。

2 / 18 木

交流を支えた船

大阪府文化財センター 調査課 主査 塚本 浩司

海に囲まれた日本列島で、船の進化は社会に大きな影響を与えました。ただし、関連出土資料は断片的で少なく、その姿はいまだ謎に包まれています。考古学は古代船にどこまで迫れるのか、大きさという観点から考えてみます。

10 / 15 木

古代ガラスからみた国際交流

近つ飛鳥博物館 専門学芸員 久永 雅宏

西アジアや中国で発祥したガラスは、弥生時代に初めて日本に伝えられました。その後、長らく海外から入手し続け、国産化は飛鳥時代に果たされました。本講座では古代のガラス製品を材料に、国際交流や国産化に至る歴史を紹介します。

3 / 18 木

難波と南河内の初期寺院からみる
仏教受容とその拡がり

近つ飛鳥博物館 学芸員 谷崎 仁美

日本初の本格寺院・飛鳥寺の造営のため、百済から技術者が派遣されたことは、考古学からもその痕跡を辿ることができます。本講座では、南河内の新堂廃寺、難波の四天王寺を例に挙げ、考古資料が物語る大陸とのつながりをご紹介します

11 / 19 木

武器と戦いをめぐる交流

弥生文化博物館 専門学芸員 田中 美玖

弥生時代は、武器が大陸から日本列島に伝来し、「戦争」が始まった時代だと考えられてきました。しかし近年の研究により、この評価は大きく揺らいでいます。本講座では大陸から伝わった「戦い」の実態について考えます。

時 間 午前 10 時 30 分～ 12 時 (受付は午前 10 時から)

定 員 100 名様 (要事前申込)

受講料 各回 2,640 円 (税込)

お申込み・お問合せは「近鉄文化サロン阿倍野」まで

TEL 06-6625-1771

〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 and 4 階
[受付時間] 10:00～18:30 (日曜日は10:00～16:00)
※ 受付時間は変更になる場合がございます。休業日はHP等でご確認ください。

受講
お申込みは

- 事前にご予約のうえ、ご入金手続きをお済ませください。
- 満員になり次第、締め切らせていただきます。
- お支払いには、コンビニ振込みがご利用いただけます。(振込手数料別途) ※詳しくはお申込み時にご確認ください。
- WEBでお申込みの場合、会員登録が必要です。(入会金無料)

WEBでのお申込み、お支払いはこちらから

ホームページアドレス

<https://bunka-salon.d-kintetsu.co.jp/shop/c/cabeno/>

